

AIVY Talkサーバ1.0 インストールガイド



AIVY Talkサーバ 1.0 インストールガイド

(C)2001 AIVY Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

このマニュアルの一部または全体をアイビィ・コミュニケーションズ社の書面による事前の許可なしに、複製、複製、再製造、または翻訳すること、および電子的または機械的に読み取り可能な形式に変換することは禁止されています。

このマニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアはライセンスの所有者に対してのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用または複製することが許されます。このマニュアルに記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、記載されている情報についてアイビィコミュニケーションズ社はいかなる責任も負いませんし、誤りや不正確な記述があった場合にもいかなる責任、債務も負わないものとします。

商標

AIVY Talkはアイビィ・コミュニケーションズ社の商標です。Windowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。その他記載された社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。Intel、PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。

目次

はじめに	2
1. インストールと設定	2
1-1 システムの必要条件	2
1-2 AI VY Talkサーバのインストール	2
1-3 アンインストールについて	7
1-4 サーバーの設定	9
1-4-1 パケットフィルタリングの設定	9
1-4-2 IISの設定	13
1-4-2-1 エイリアス名の設定	13
1-4-2-2 発行する内容を含むディレクトリの物理パス	14
1-4-2-3 アクセス権の設定	16
1-4-2-4 仮想ディレクトリの作成完了	17
1-4-2-5. プロキシ設定の確認	17
1-4-2-6. ブラウザを使用したサーバーツールの起動	19
1-4-2-7. IIS をを使用したサーバーツールの起動	19
1-4-2-8 サーバーツールの初期設定	23
2 サーバーの起動	25
Windows のサービスマネージャから起動する方法	25
サーバーツールから起動する方法 (推奨)	26
3 サーバーの停止	27
Windows のサービスマネージャから停止する方法	27
サーバーツールから停止する方法 (推奨)	28

はじめに

AIVY Talkはビジネスシーンでの利用を前提に開発されたチャットシステムです。グループコールや会話セッションの転送機能といったこれまでのチャットシステムにはない新しい機能を提供することで効率性と安全性を大幅に向上させました。

サーバ本体だけでなく、作成するグループやパーティの属性も細かいところまで設定することができるので様々なニーズに応えることができるようになっています。

1. インストールと設定

1-1 システムの必要条件

AIVY Talkサーバを起動するには、以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- ・ Intel Pentium 相当のプロセッサ、600MHz 以上
- ・ 256MB 以上の主メモリ
- ・ Windows NT 4.0 (要 SP3 以上) または Windows 2000
- ・ IIS (Internet Information Server) バージョン 4 または 5

1-2 AIVY Talkサーバのインストール

最初にMicrosoft(R) Internet Information Server(R)(以下IIS)がインストールされているか確認してください。サーバーツールやクライアントとの通信でHTTPを使用する場合に必要です。インストールされていない場合は AIVY Talkサーバを使用することができません。

以降の説明では Windows NT4 には IISバージョン4、Windows 2000 にはIISバージョン5がインストールされているものとします。Windows NT4 にIISバージョン5がインストールされている場合、IISの設定ではWindows2000の説明も参照してください。

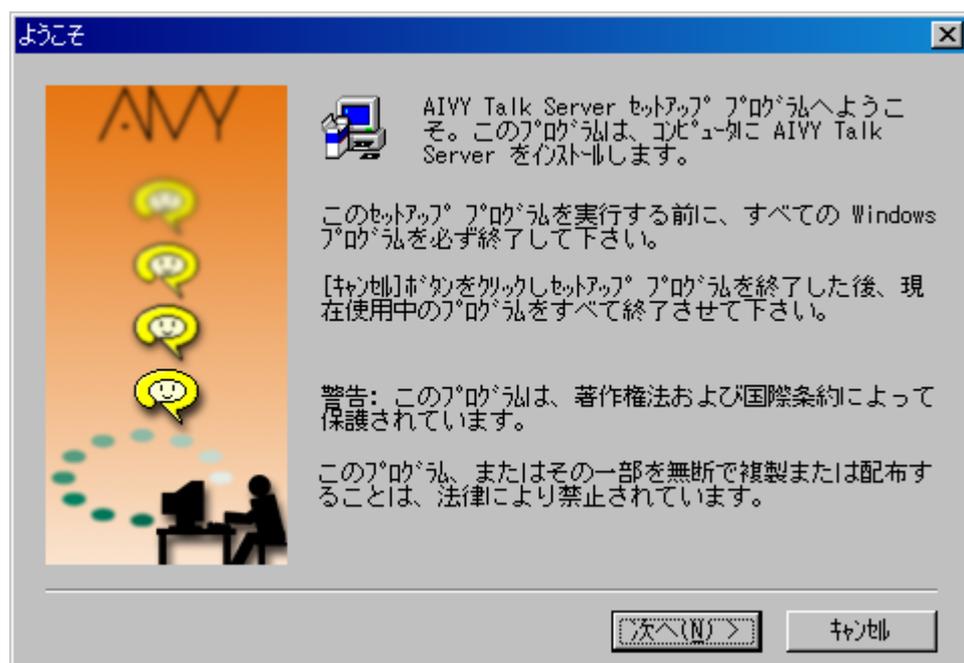
注意1

インストールは Administrator の権限で行ってください。IIS 上でファイル操作 (ID 管理やパスワード等) をするのでインストールフォルダには Everyone フルコントロールのアクセス権が必要です。[Program Files] には、この権限がありませんのでご注意ください。

注意2

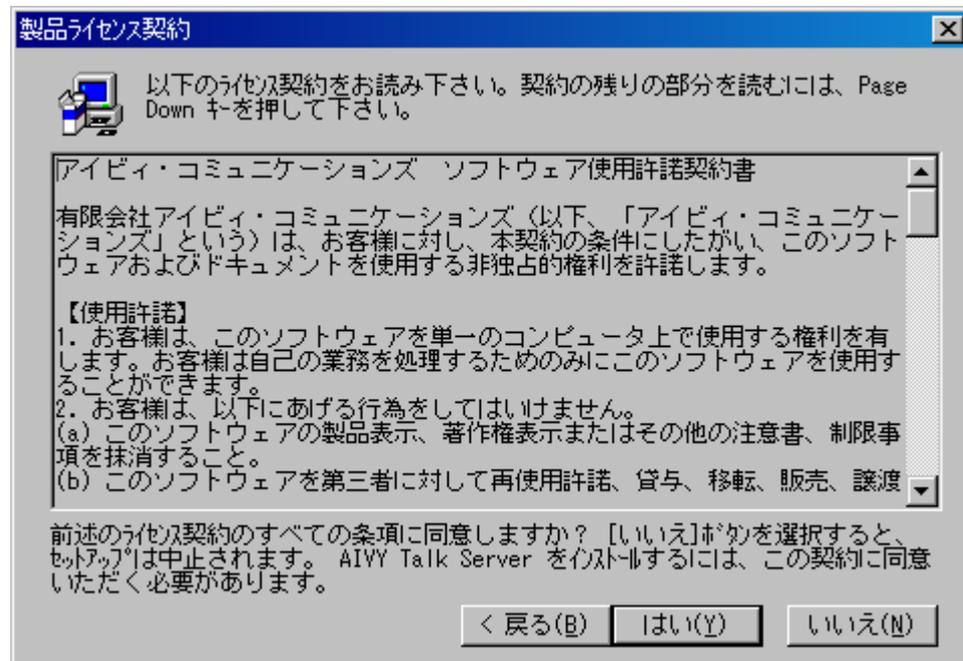
初期インストールには60日試用期限がついています。期限を越えて使用する場合はユーザーガイドの『ライセンス数の変更方法』を参照してください。それ以外の場合は、この章の「アンインストールについて」を参照してアンインストールしてください。

1. (ダウンロードした) サーバーインストールプログラム「AIVYTalkSever.exe」を実行します。画面の指示にしたがってAIVY TalkサーバーをWindows NT/2000にインストールします。



インストールを開始します。確認後よろしければ [次へ(N)>]を選択してください。

2. 使用許諾契約書が表示されます。同意する場合は[はい]を選択してください。同意しない場合は[いいえ]を選択して終了してください。[はい]を選択した場合は使用許諾契約書に同意したものとみなします。

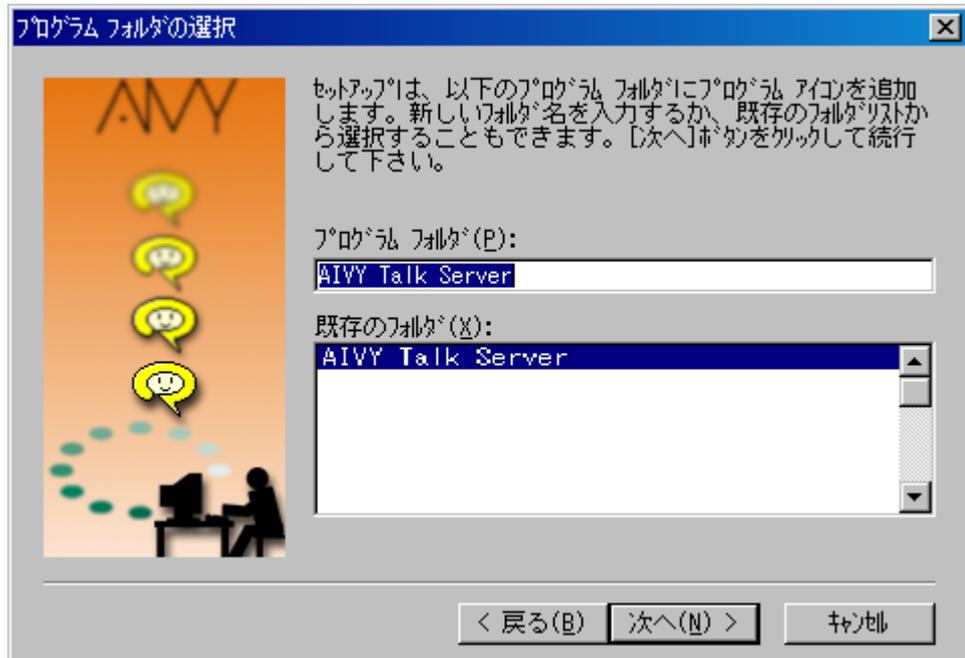


3. インストール先フォルダを選択します。このフォルダに、AIVY Talk Server の「サービス」プログラムやIISで設定する仮想ディレクトリ等をインストールします。フォルダを変更する場合は[参照(B)...]を選択してください。確認後よろしければ



[次へ(N)>]を選択してください。

4. 作成するAIVY Talk Serveのプログラムフォルダ名を設定します。



5. インストールを開始します。[現在の設定]を参照してよろしければ[次へ(N)>]を選択してください。

インストーラは、

- ・ファイルのコピー。
- ・レジストリの設定。
- ・プログラムフォルダの作成。
- ・「サービス」への登録。

をおこないます。環境によっては多少時間がかかる場合があります。



6. 正常にインストールが終了すると以下の画面が表示されます。



ここで『AIVY Talk Server ユーザーガイド』の表示が選択できます。『ユーザーガイド』はプログラムフォルダ『AIVY Talk Server』に登録されていますのでいつでも必要なときに読むことができます。この後 IIS の設定をおこないます。

1-3 アンインストールについて

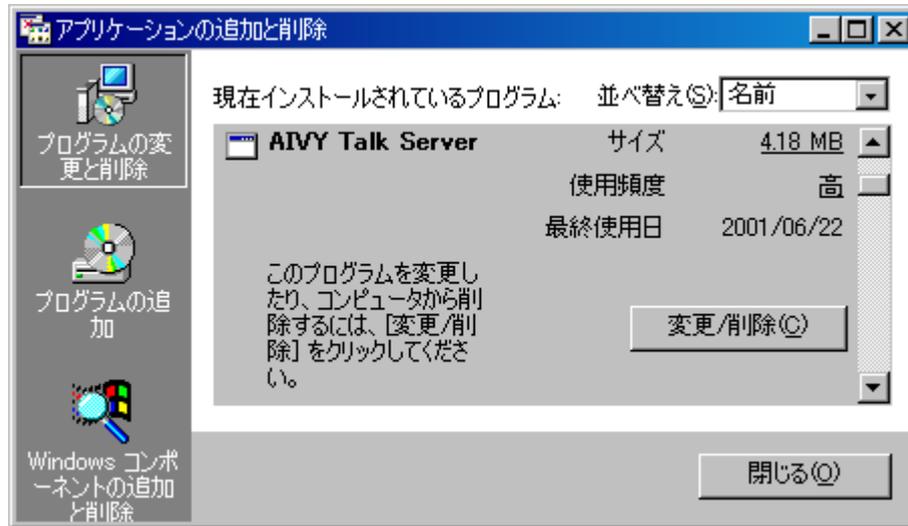
アンインストールはインストールしたファイルやレジストリを削除するプログラムです。インストール後に作成されたファイル (LOG 等) は削除しません。完全にアンインストールする場合は、インストールフォルダをエクスプローラ等で削除して下さい。サーバーにログインしているユーザや会話中のセッションは切断されます。『ユーザーガイド』の「メッセージの送信」に記載されている方法で接続中のユーザーにブロードキャストメッセージで切断メッセージを送ることをお勧めします。

アンインストールを実行するにはコントロールパネルの『アプリケーションの追加と削除』から「AIVY Talk Server」を選択してください。プログラムフォルダの「アンインストール」から削除することもできます。なお、IIS の設定は削除されませんのでご注意ください。

「アンインストール」を使用する場合



Windows 2000 の「アプリケーションの追加と削除」



Windows NT の「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」



1-4 サーバーの設定

AIVY Talkサーバーは、設定変更/運用状態の確認/サービスの実行、停止などの運用操作を全てWebブラウザ上でおこなうので、AIVY Talkサーバーの運用には、同じサーバー上でIISが稼動し、かつAIVY Talkサーバーの運用画面が正しくWebブラウザ上に表示できるようIISの設定を変更する必要があります。

AIVY Talkクライアントは、AIVY Talkサーバーに対し以下の2つ方法でアクセスします。

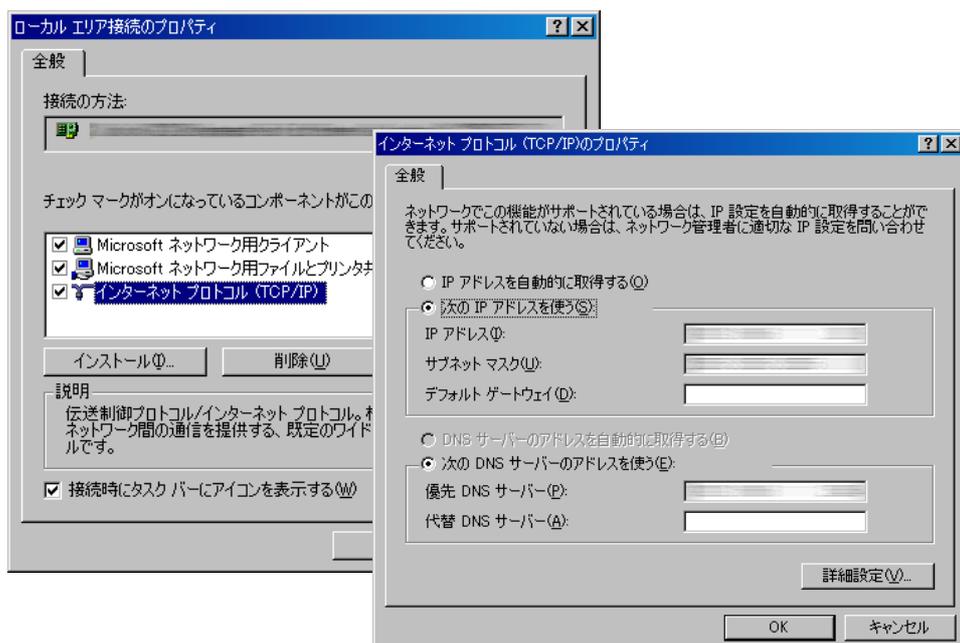
- ・TCP/IPポート 2222への TCP/IP 接続
セキュリティアプリケーションや、パケットフィルタリング等を使用している場合、このポートを外部からアクセスできるように設定する必要があります(セキュリティアプリケーションを使用している場合は、それぞれのマニュアルを参照してください)。
- ・HTTP プロキシを経由した HTTP 接続
IISを経由してAIVY Talk サーバーへアクセスします。

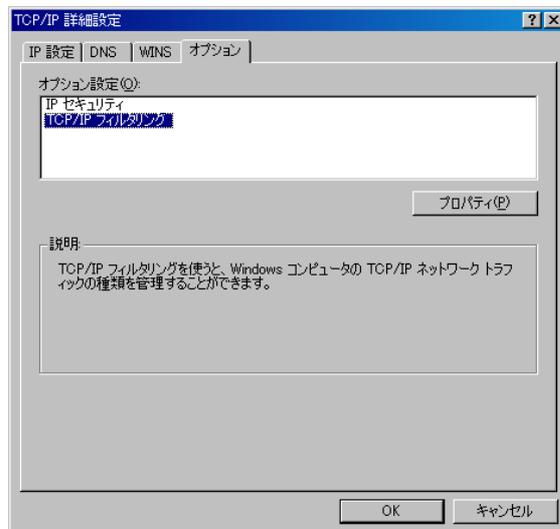
1-4-1 パケットフィルタリングの設定

・Windows 2000 の場合

『コントロールパネル』の『ネットワークとダイヤルアップ接続』を開き『ネットワークのプロパティ』の「TCP/IP プロトコル」で設定します。

TCP/IP プロトコル プロパティ 詳細設定
オプションTCP/IP フィルタリング プロパティ



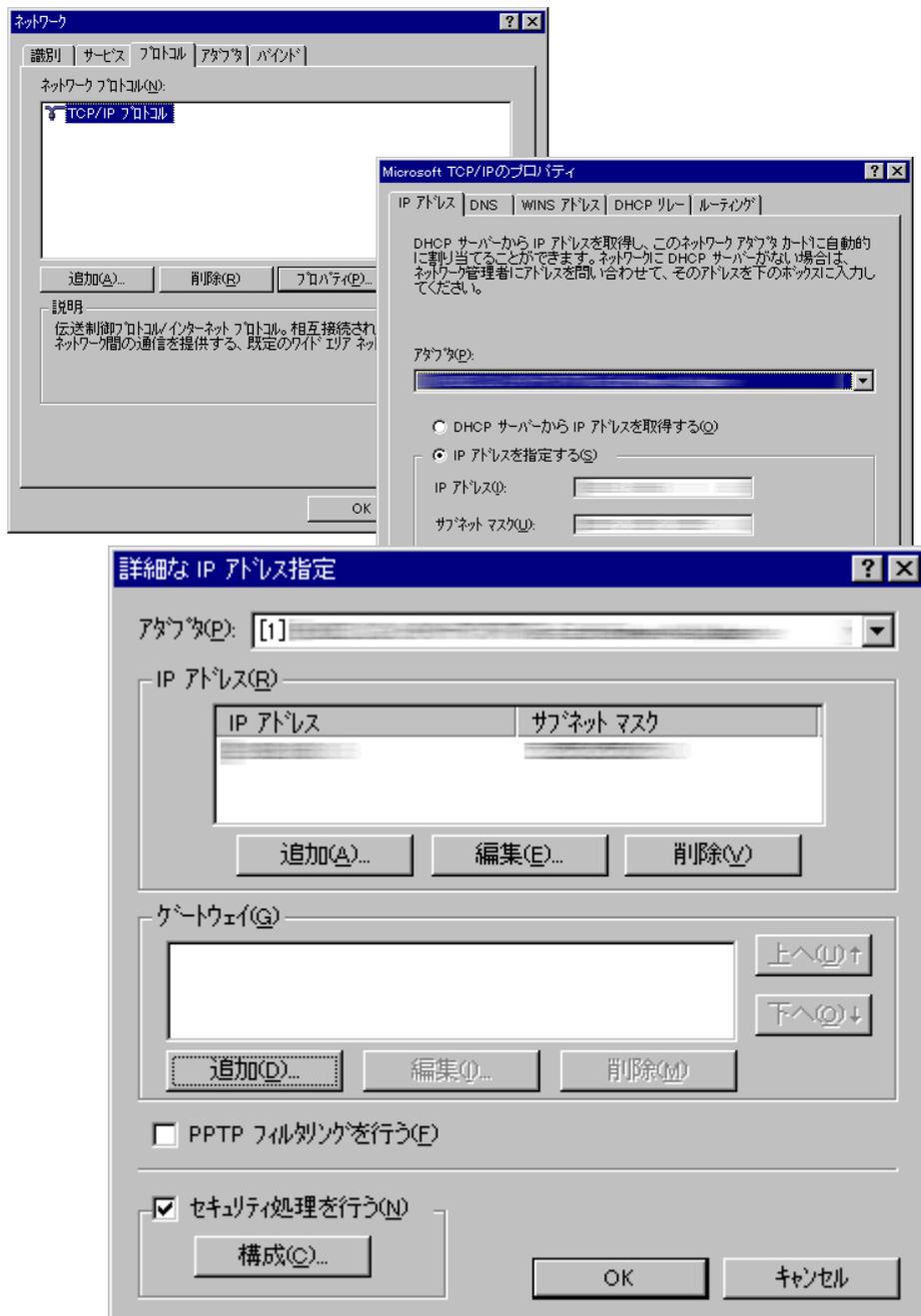


・全て許可になっている場合、設定する必要はありません。TCPポートが[一部許可する(Y)]になっている場合は[追加]をクリックしてポート番号 2222 を設定してください。

• Windows NT の場合

『コントロールパネル』の『ネットワーク』を開き『プロトコル』の「TCP/IP プロトコル」で設定します。

TCP/IPプロトコル プロパティ 詳細 [セキュリティ処理を行う(N)] に
チェックして[構成(C)...] TCP/IPのセキュリティ





・全て許可になっている場合、設定する必要はありません。TCPポートが[一部許可する(Y)]になっている場合は[追加]をクリックしてポート番号 2222 を設定してください。

1-4-2 IISの設定

ここからは、IISに仮想ディレクトリを作成する方法を説明します。

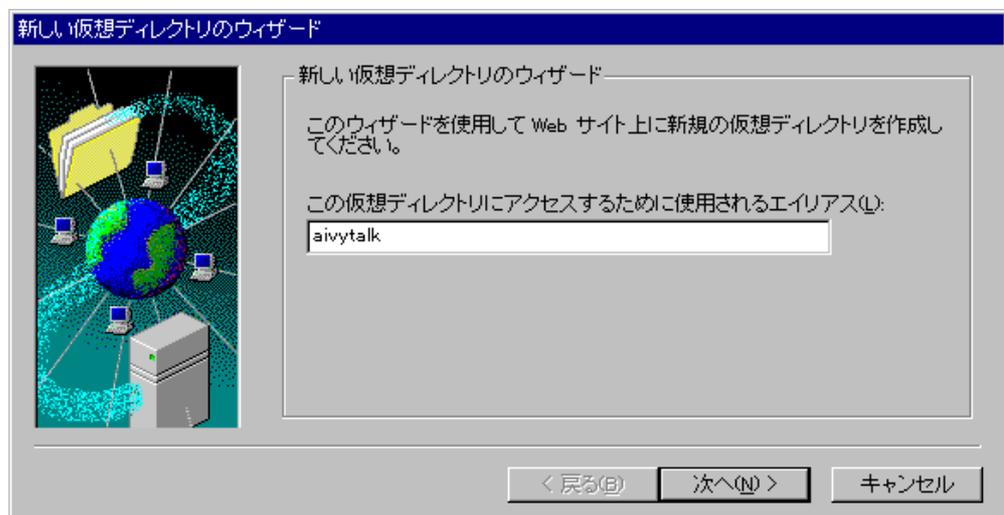
Windows 2000 の場合は [管理ツール] の [インターネットサービスマネージャー] から、Windows NTの場合は [Windows NT 4.0 Option Pack]の[IIS] からマネージャーを起動します。

「ツリー」タブから設定するホストを開き、「規定の Web サイト」¹を選択してください。[動作]²ボタン、またはコンテキストメニューから[新規作成(N)] - [仮想ディレクトリ]を選択して『仮想ディレクトリのウィザード』を起動し、エイリアス名の入力画面まで進みます。

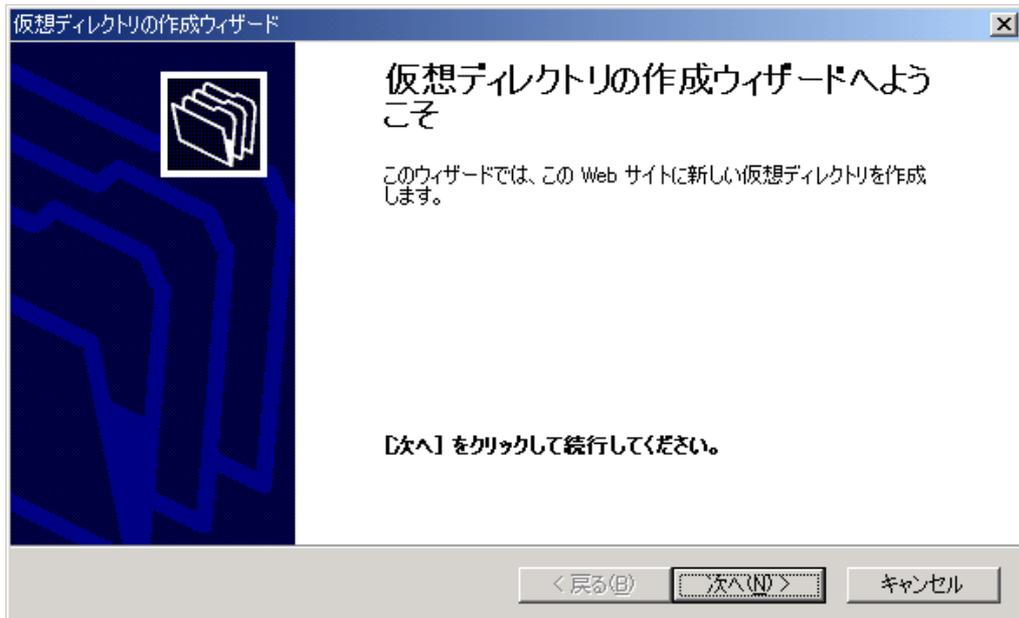
- 1 プロパティで名称が変更されている場合があります。
- 2 IIS4は [動作]ボタン、IIS5は[操作]メニューです。以下[動作]で説明します。

1-4-2-1 エイリアス名の設定

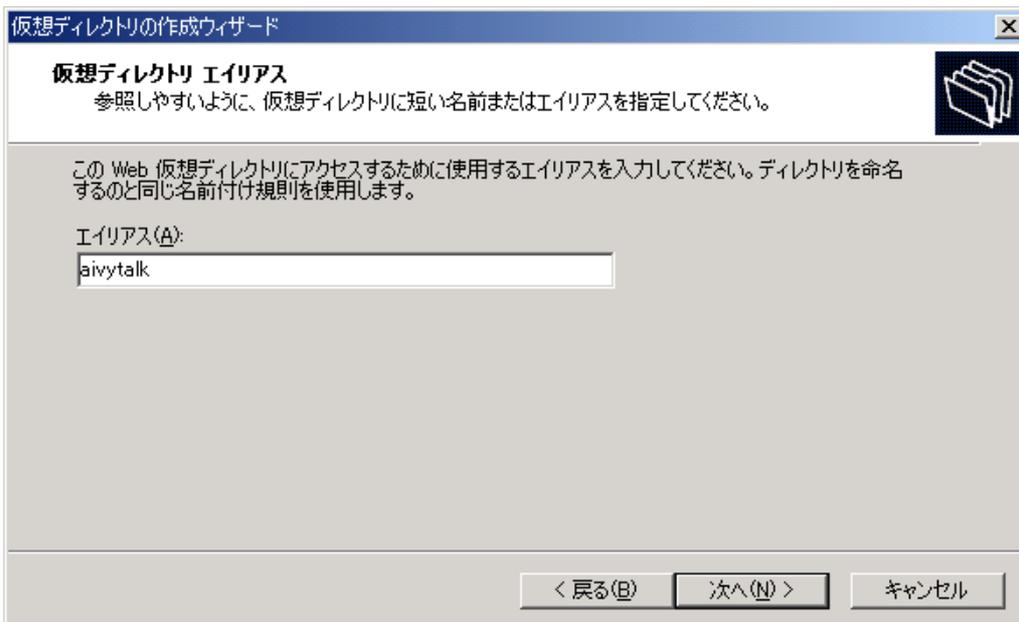
エイリアス名を指定します。ここでは「aivytalk」を入力します。このエイリアス名は、後にいろいろな設定で必要になりますので分かりやすいものにして下さい。よろしければ [次へ(N)>]を選択してください。



Windows NTの場合



Windows 2000の場合



1-4-2-2 発行する内容を含むディレクトリの物理パス

[参照(R)...] ボタンを選択して「AIVY Talkサーバー」をインストールしたディレクトリにある [Workspace¥web] を選択します。標準では C:¥AIVY¥AIVY Talk Server¥Workspace¥web です。ここには『サーバーツール』や『HTTP プロキシ』に必要な cgi 等が含まれています。

フォルダの説明

[インストールしたディレクトリ]

- +-- Binary サービスに登録されているプログラム等が入っています。
- +-- Workspace AIVY Talk が使用するワークスペースです。
 - +-- Log 各種ログを記録します。
 - +-- Profile ユーザー、グループ、パーティ等の情報を記録します。
 - +-- web IISの仮想ディレクトリエイリアスに指定するディレクトリです。

この構成は変更できません。例えば [Workspace¥web] だけを他のディレクトリに移動すると正常に動作しません。インストールした状態のまま使用してください。

よろしければ [次へ(N)>]を選択してください。

Windows NTの場合



Windows 2000の場合



1-4-2-3 アクセス権の設定

5項目のうち以下の3項目にチェックしてください。

読み取り

スクリプトのアクセス (ASP 等のアクセス)

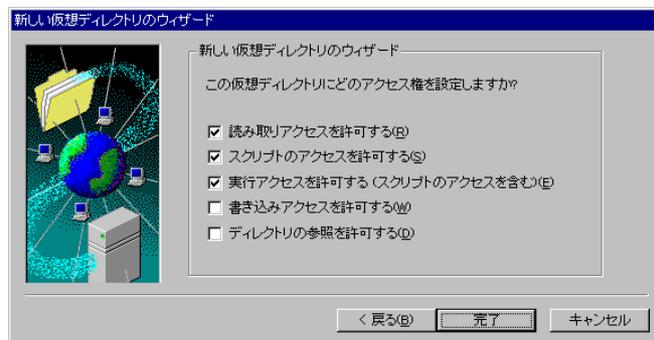
実行アクセス (ISAPI アプリケーションや cgi のアクセス)

書き込み

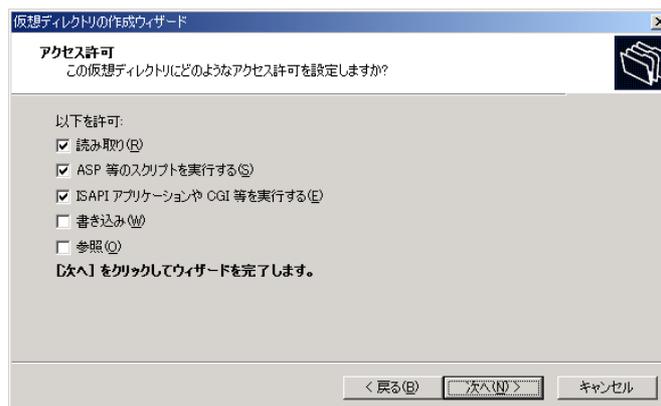
参照 (ディレクトリのアクセス)

よろしければ [次へ(N)>]または[完了]を選択してください。

Windows NT の場合



Windows 2000 の場合



1-4-2-4 仮想ディレクトリの作成完了

これで IIS の仮想ディレクトリが作成できました。

確認のためサーバーツールを起動してみましょう。サーバーツールの起動には『ブラウザを使用する場合』と『IISを使用する場合』があります。

注意

AIVY Talk Sever の運用がローカル IP の場合で、インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は次の設定を確認してください。

- ・ Internet Explorer (IE) の [インターネットのプロパティ] を表示します。
インターネットエクスプローラのメニューから [インターネットオプション] を選択するか、デスクトップにある [Internet Explorer] のアイコンを選択してから [プロパティ] を選択することで表示します。

1-4-2-5. プロキシ設定の確認

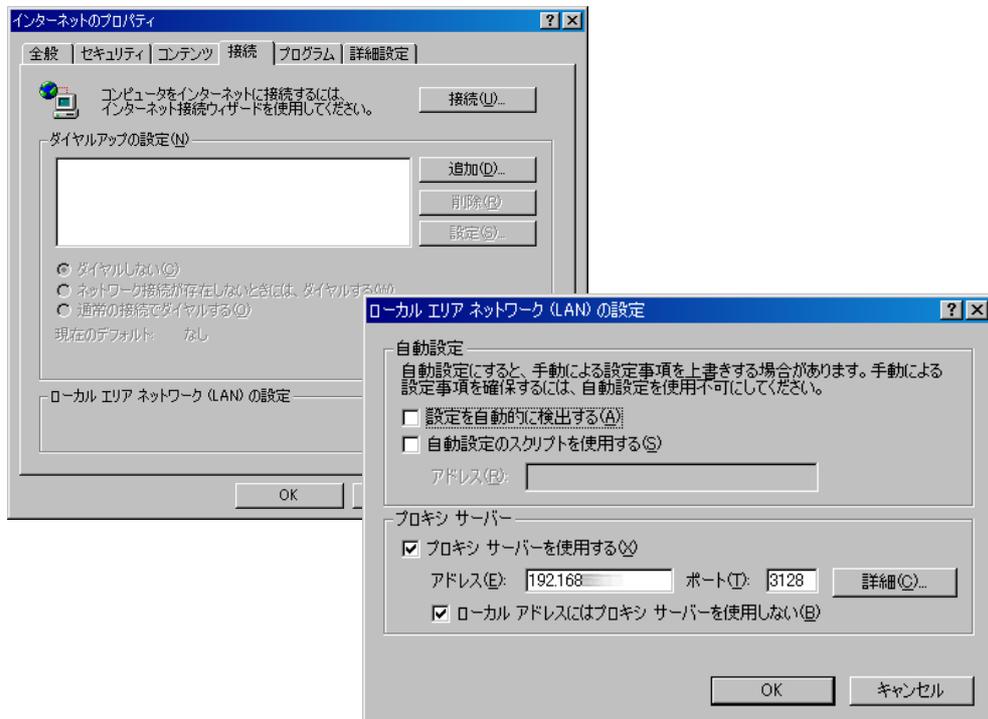
IE4 の場合

- ・ [インターネットのプロパティ] - [接続]
ローカル (イントラネット) のアドレスにはプロキシを使用しない (B) にチェックします。



IE5 の場合

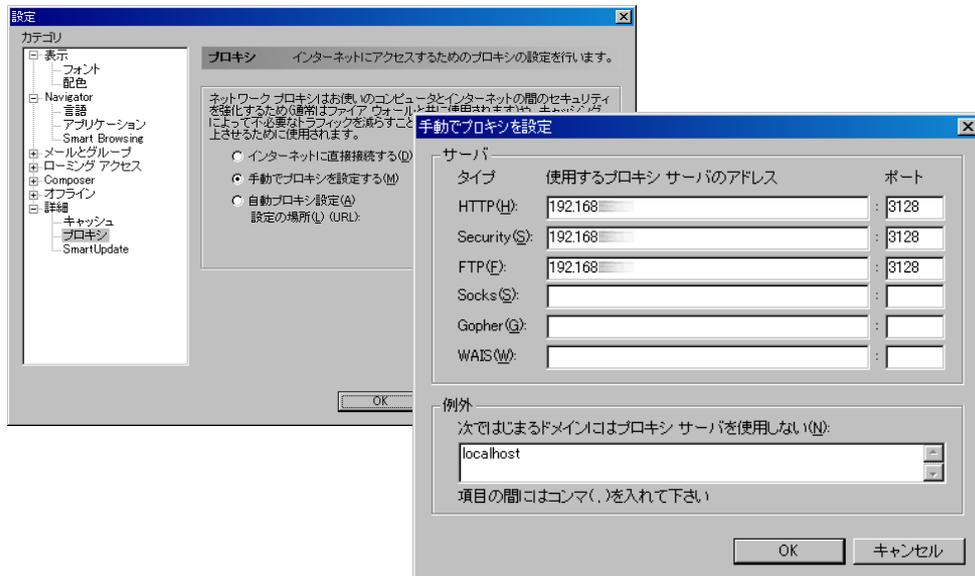
- ・ [インターネットのプロパティ] - [接続] - [LAN の設定 (L)...] を選択して [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログを表示します。
ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない (B) にチェックします。



Netscape 4.7の場合

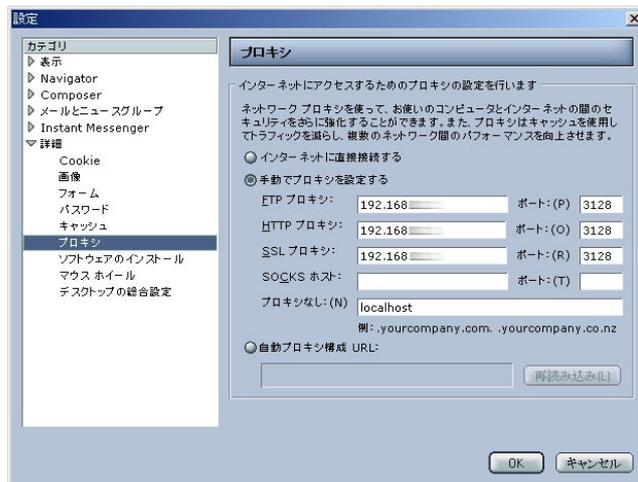
- ・メニュー[編集(E)] - [設定(E)...]を選択して設定のダイアログを表示します。カテゴリから[詳細]を展開して[プロキシ]を選択します。
- 手動でプロキシを設定する(M) - [表示(V)...]を選択して[手動でプロキシ設定]ダイアログを表現示します。

[例外] - [次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない(&N):]の編集エリアに「localhost」を追加します。



Netscape 6 の場合

- ・メニュー[編集(E)] - [設定(E)...] を選択して設定のダイアログを表示します。カテゴリから [詳細] を展開して [プロキシ] を選択します。[プロキシなし(N)] に 「localhost」 を追加します。



1-4-2-6. ブラウザを使用したサーバーツールの起動

普段使用しているブラウザを起動します。

IPアドレスがDNSで割り振られている場合はそのサイト名とIISで設定したエイリアス名をIEの場合は [アドレス(D)]に、ネットスケープ4.7の場合は[場所]に入力します。ネットスケープ6の場合は [検索する用語、キーワード、またはWebアドレスを入力]に入力します。(表記はありません。ツールヒントで確認できます。)

例) `http://www.xxxx.xxxx.jp/aivytalk/admin/Admin.html`

ローカルの場合はローカルホスト名(コンピュータ名)と I I S で設定したエイリアス名をIEの場合は [アドレス(D)]に、ネットスケープ4.7の場合は[場所]に入力します。ネットスケープ6の場合は [検索する用語、キーワード、またはWebアドレスを入力]に入力します。(表記はありません。ツールヒントで確認できます。)

例) `http://localhost/aivytalk/admin/Admin.html`

1-4-2-7. IIS をを使用したサーバーツールの起動

IISの画面で[既定のWeb サイト]に作成した仮想ディレクトリ(標準ではaivytalk)を展開して[admin]フォルダを選択します。一覧の中に表示されている [Admin.html] を選択してください。[動作]ボタン、またはコンテキストメニューから[参照]を選択するとブラウザが起動します。サーバーツール(AIVY Talk Server Tools)のユーザー認証の画面が表示されます。

ユーザー認証はサーバーのデータを保護のために必要です。

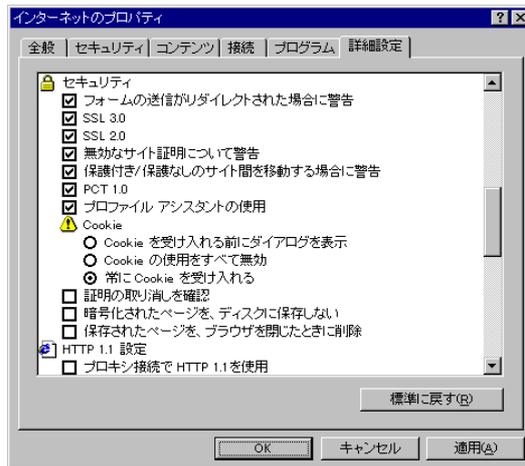
注意

1. 認証にはクッキー (cookie) を使用しますので、ブラウザの設定はクッキーを使用する設定にして下さい。(全て許可もしくは確認あり等、セキュリティレベル [中] 以下の場合、標準では使用する設定になります。)
2. サーバーツールはJavaスクリプトを使用していますので、ブラウザの設定は Java スクリプトを使用する設定にして下さい。(全て許可もしくは確認あり等、セキュリティレベル [中] 以下の場合、標準では使用する設定になります。)

IE4 の場合

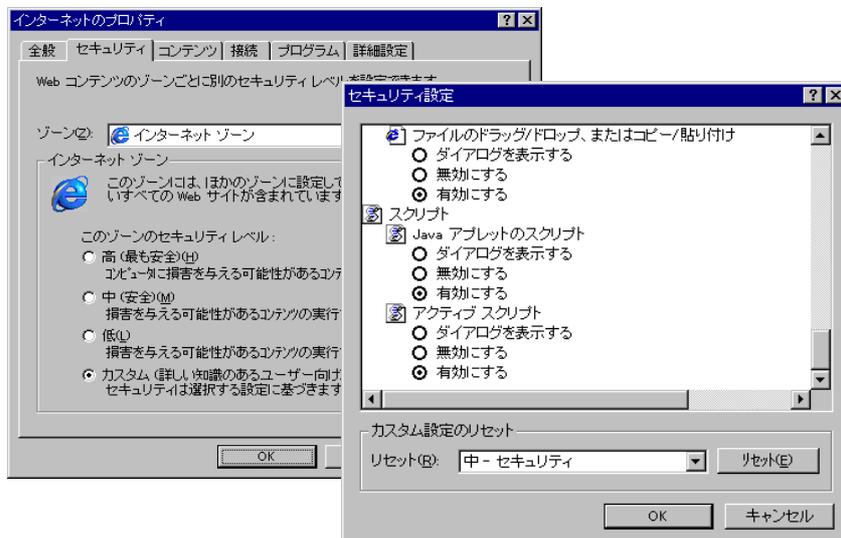
クッキー

[インターネットのプロパティ] - [詳細設定] で設定します。



Java スクリプト

[インターネットのプロパティ] - [セキュリティ] で設定します。

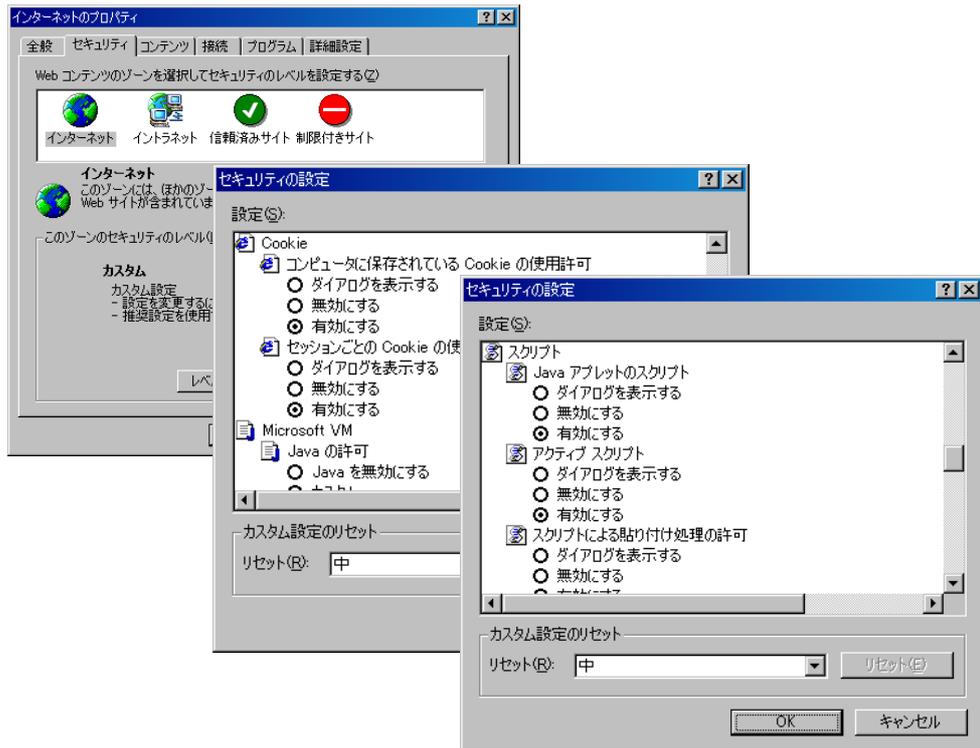


IE5 の場合

[インターネットのプロパティ] - [セキュリティ] - [レベルのカスタマイズ(C) ...] を選択して [セキュリティの設定] ダイアログを表示します。

クッキー、Java スクリプト

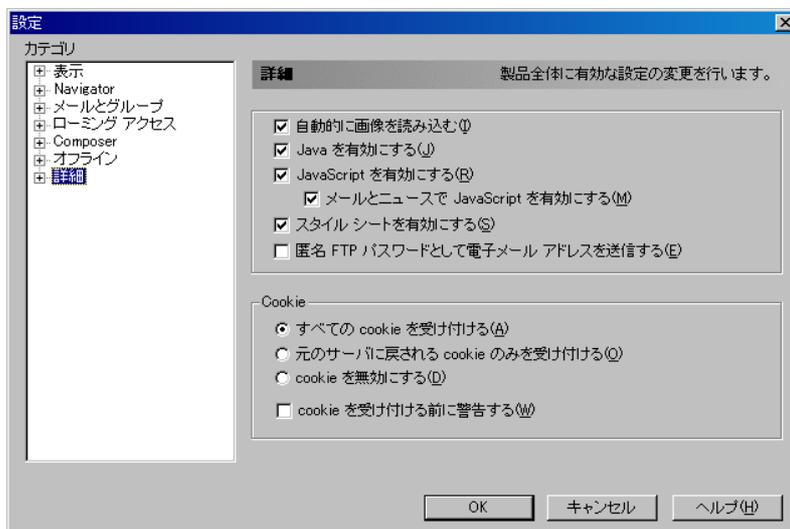
[インターネットのプロパティ] - [セキュリティ] で設定します。



Netscape 4.7 の場合

クッキー、Java スクリプト

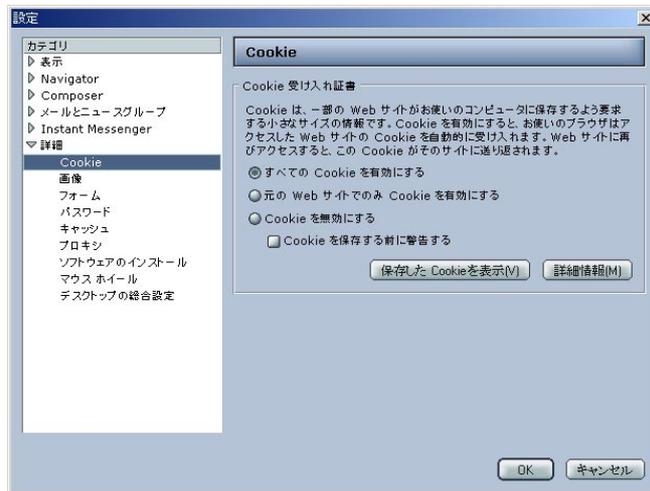
メニュー[編集(E)] - [設定(E)...] - カテゴリの [詳細] で設定します。



Netscape 6 の場合

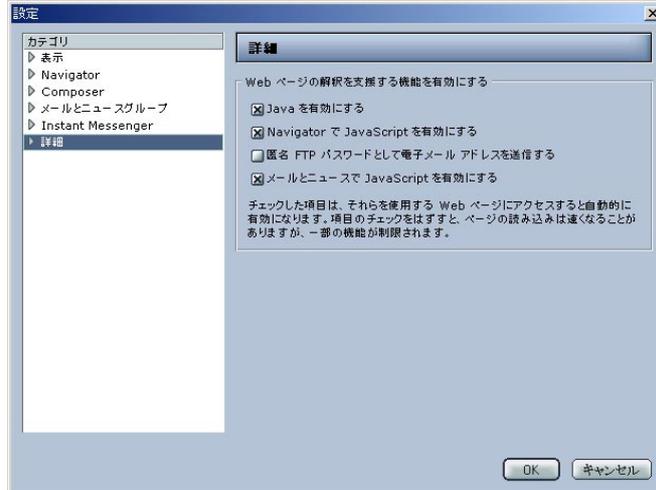
クッキー

メニュー[編集(E)] - [設定(E)...] - カテゴリから [詳細] を展開して [Cookie] で設定します。



Java スクリプト

メニュー[編集(E)] - [設定(E)...] - カテゴリの [詳細] で設定します。



初期設定ではユーザーIDは [admin]、パスワードは [admin] に設定されています。入力して [認証] ボタンを選択してください。認証され次画面に進めれば IIS の設定は正常に行えました。

1-4-2-8 サーバツールの初期設定

「1-4-2-4 仮想ディレクトリの作成完了」で指定したアドレスから認証を行いサーバツール(AIVY Talk Server Tools)のトップ画面にはいります。メニューから [サーバの設定] を選択します。赤い*印は必ず設定してください。

サーバホスト名*: サーバホスト名です。

サイト名*: サイト名です。AIVY Talkクライアントに表示されます。

管理者 ID*: サーバツールにログインするためのIDです。
(デフォルトはadmin)

管理者名*: 管理者名です。

管理パスワード*: サーバツールにログインするためのパスワードです。
(デフォルトはadmin)

サイトの仮想ディレクトリエイリアス*: Webサイト名/エイリアス名 です。
例えば、Webサイト名がwww.xxx.co.jpでエイリアス名がaivytalkの場合には”www.xxx.co.jp/aivytalk”と設定します。

- ・ 管理者のID、パスワードを早めに変更してください。
- ・ サイトの仮想ディレクトリエイリアスは、IPアドレスがDNSで割り振られている場合はそのサイト名と IIS で設定したエイリアス名を入れます。
例 http://www.xxxx.xxxx.jp/aivytalk

ローカルの場合はローカルホスト名(コンピュータ名)と IIS で設定したエイリアス名を入れます。

例 http://xxxxxxxserver/aivytalk

いずれもIISに設定したエイリアス名がaivytalkの場合です。

デフォルトはサーバツールのエイリアスが入っています。

詳しくはユーザーガイドの『サーバツールの使い方』を参照して下さい。

HTTPエラーが発生した場合

作成した仮想ディレクトリのプロパティを開いて、以下の項目が選択状態されているか確認してください。

ローカルパス

読み取り(R)

ログアクセス(V)

索引付けする(I)

2 サーバーの起動

Windowsのサービスマネージャから起動する方法

AIVY Talk Serverは、Windows NT/2000 の『サービス』で動いています。『サービス』の詳しい説明はWindows NT/2000の説明書を参照してください。

AIVY Talk Serverのサービス名は「AIVY Talk」と「AIVY Talk Monitor」です。それぞれのサービスは Windows が起動すると自動的に起動しますが、インストールした直後は「停止」状態になっていますので以下の操作で起動します。

・Windows NT 4の場合

コントロールパネルの『サービス』を選択し開きます。

サービス名「AIVY Talk」を探し選択します。サーバーが停止している場 [開始(S)] ボタンが操作が可能な状態になっています。このボタンをクリックすることで AIVY Talk Serve が開始状態になります。



・Windows 2000の場合

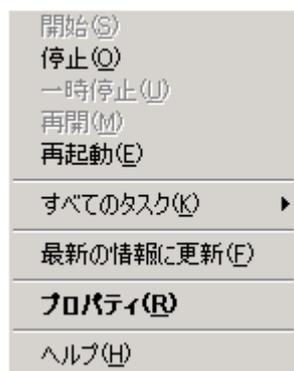
コントロールパネルの『管理ツール』の中の『サービス』を選択し開きます。

サービス名「AIVY Talk」を選択しプロパティを表示します。サーバーが停止している場合は[開始(S)] ボタンが操作が可能な状態になっています。このボタンをクリックすることで AIVY Talk Serverが起動状態になります。同じ操作をメニューの[操作(A)]やツールボタンからおこなうことができます。

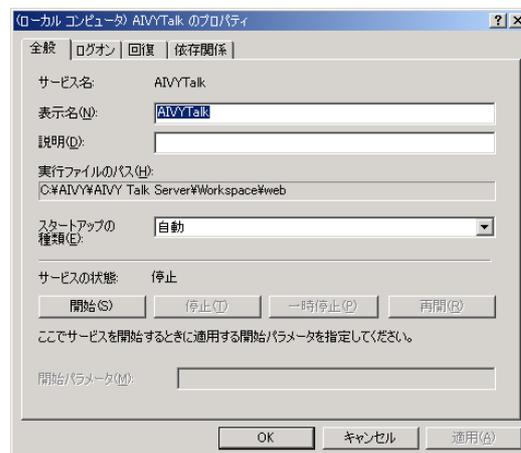
「サービス」ウィンドウ



「操作」メニュー



「プロパティ」ウィンドウ



インストール直後はサーバーの設定が完了していませんので『サーバーツール』を使用して設定します。詳しい設定は『ユーザガイド』の『サーバーツールの使い方』を参照してください。

サーバーツールから起動する方法（推奨）

サーバーツールを使用してサーバを起動することができます。詳しくはユーザガイドの「サーバーモニタ」の章をご参照ください。

3 サーバーの停止

Windowsのサービスマネージャから停止する方法

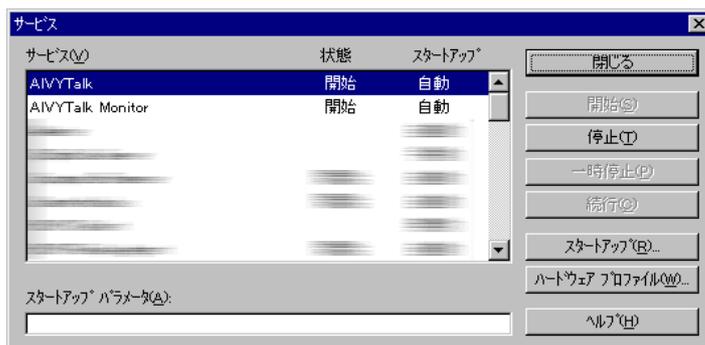
AIVY Talk Serverは、Windows NT/2000の『サービス』で動いています。『サービス』の詳しい説明はWindows NT/2000の説明書を参照してください。

AIVY Talk Serverのサービス名は「AIVY Talk」と「AIVY Talk Monitor」です。それぞれのサービスは Windows が起動すると自動的に起動します。

・Windows NT 4の場合

コントロールパネルの『サービス』を選択し開きます。

サービス名「AIVY Talk」を選択します。サーバーが開始している場合、[停止(T)] ボタンが操作が可能な状態になっています。このボタンをクリックすることで AIVY Talk Server が停止状態になります。

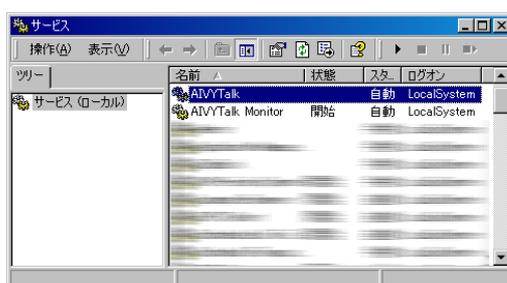


・Windows 2000の場合

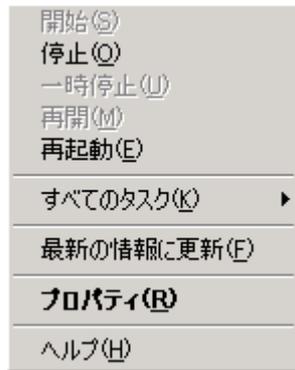
コントロールパネルの『管理ツール』の中の『サービス』を選択し開きます。

サービス名「AIVY Talk」を選択しプロパティを表示します。サーバーが開始している場合、[停止(T)] ボタンが操作が可能な状態になっています。このボタンを選択することで AIVY Talk Server が停止状態になります。同じ操作をメニューの[操作(A)]やツールボタンからおこなうことができます。

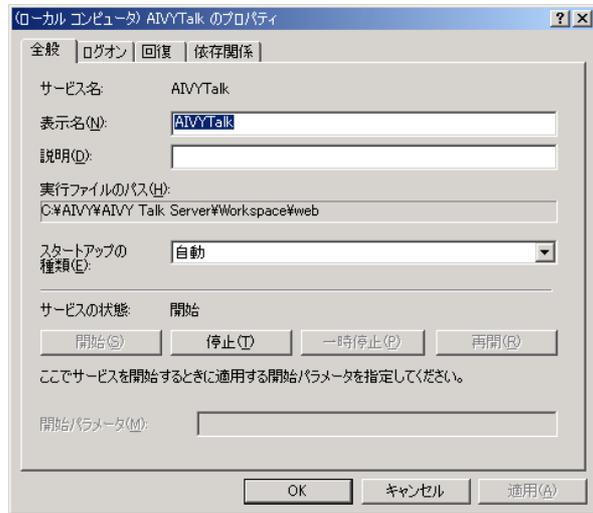
「サービス」ウィンドウ



「操作」メニュー



「プロパティ」ウィンドウ



サーバーツールから停止する方法（推奨）

サーバーツールを使用してサーバを停止できます。詳しくはユーザーガイドの「サーバーモニタ」の章をご参照ください。

停止について

このサーバーにログインしているユーザや会話中のセッションは中断されます。停止する前に接続中のユーザーにブロードキャストメッセージで停止を告知することをお勧めします。

